

市立三笠総合病院事業会計

IV 市立三笠総合病院事業会計

1. 事業の概要

令和5年度の病院事業は、本市唯一の総合病院として、高齢化が著しい地域の実態に対応するため、その機能を維持、継続することを基本とし、新型コロナウイルス感染症の感染対策が一部緩和されたが、引き続き発熱外来及び感染症病床を確保するなど、きめ細やかな医療サービスを提供し、市民が安心して必要な医療が受けられるよう取組まれている。

(1) 診療体制

(表1 業務実績表 参照)

ア. 職員体制

当年度末の職員総数は、対前年度比で1人減少し、100人となっている。

職種別職員数では、医師2人・医療技術部門23人・看護部門62人・薬剤部門2人・事務部門9人・給食部門2人となっている。

なお、医師(2人)の配属内訳は、内科1人、整形外科1人となっており、また、内科・循環器科・小児科・皮膚科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・眼科・精神神経科の外来各科で出張医による一定日の診療体制が採られている。

イ. 施設・設備の整備

医療用資産として、画像診断ネットワークシステム、骨手術器械システム、麻酔器、生体情報モニター、電動ベッド等の計8点(3,235万円)を購入し、整備を行っている。

(2) 患者の状況

(表2 各科別患者診療状況調 参照)

ア. 入院

入院患者数は21,222人で、対前年度比で286人(1.4%)が増加している。

主な科別では、内科4,484人(対前年度比△37人)、外科741人(同170人増)、整形外科1,088人(同△619人)、人工透析科202人(同102人増)、地域包括ケア3,086人(同120人増)、療養11,621人(同550人増)となっている。

イ. 外来

外来患者数は34,990人で、対前年度比5,448人(13.5%)が減少している。

主な科別では、内科12,881人(対前年度比△2,733人)、整形外科6,224人(同△2,208人)、循環器科1,851人(同△251人)となっており、9科の診療科で減少している。

一方、増加した科は、泌尿器科769人(同56人)、人工透析科2,114人(同62人)、眼科1,520人(同43人)の3診療科である。

ウ. 診療費（診療収入）

（表 1 業務実績表 参照）

患者1人1日当りの診療収入については、入院では25,111円（対前年度比688円、2.7%減）、外来が7,738円（同比297円、4.0%増）となっている。

(3) 事業収支

（表 3 比較損益計算書 参照）

当年度の事業収支は、2,722万円の純利益であり、前年度の純損失9,354万円と対比して1億2,076万円の利益増となっている。

医業収益においては、新型コロナウイルス感染症の感染対策が一部緩和され、設置場所を変えるなど引続き発熱外来、感染症病床の設置を行うなど、経営改善に向けた取組を行ったが、入院・外来患者数が目標に達せず、患者減少傾向に歯止めがかからない一方で、医業費用においては、医師等を予算見込みどおり採用できなかったこと等による給与費の減や、患者数の減に伴う経費節減等による不用額を捻出したものの、一般会計からの経営対策補助金2億4,500万円により、資金不足額の発生を回避している。

結果、予算で見込んでいた収支よりも改善し、次年度繰越留保資金として1億7,968万円を確保している。

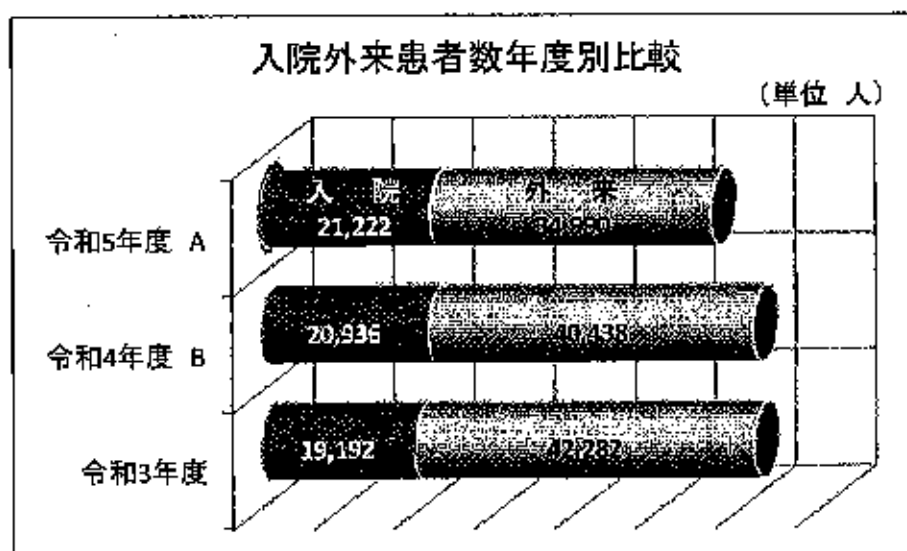


表1

業 務 実 績 表 (税込み)

項目	区分	単 位	予 定	実 績			対前年度比		A-B 増減率(%)
				令和5年度 A	令和4年度 B	令和3年度	実績比		
病 床 数	A	床	199	199	199	199	0	0.0	
	B	人	22,006	20,936	19,192	286	1.4		
	C	人	35,405	34,990	42,282	△ 5,448	△ 13.5		
患者数	B+C	人	57,411	56,212	61,474	△ 5,162	△ 8.4		
	D	日	366	366	365	1	0.3		
入院診療日数	E	日	244	244	243	0	0.0		
	F	人	60.1	58.0	57.4	0.6	1.0		
1日平均 患者数	C/E	人	145.1	143.4	165.7	△ 22.3	△ 13.5		
	F/A	%	30.2	29.1	26.4	0.3	1.0		
病 床 利 用 率	G	円	572,154,000	532,915,264	469,402,448	△ 7,220,375	△ 1.3		
	G/D	円	1,563,262	1,456,053	1,286,034	△ 23,771	△ 1.6		
	H	円	283,245,000	270,742,035	284,154,301	△ 30,140,776	△ 10.0		
診 療 収 入	H/E	円	1,160,840	1,109,599	1,169,359	△ 123,527	△ 10.0		
	G/B	円	26,000	25,111	24,458	△ 688	△ 2.7		
患者1人1日 当たり診療収入	H/C	円	8,000	7,738	6,720	297	4.0		
	全職員数	人	-	100	107	△ 1	△ 1.0		
職 員 数 (3月31日現在)	医 師 数	人	-	2	3	△ 1	△ 33.3		
	看・准看護師数	人	-	62	67	0	0.0		

表 2

各科別患者診療状況調

(単位 人・%)

区分 科名	令和5年度 A		令和4年度 B		令和3年度		すう勢比率			対前年度比 A-B		
	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比	5年度	4年度	3年度	患者数	増減率	
入 院	内科	4,484	21.1	4,521	21.6	4,558	23.7	98.4	99.2	100.0	△ 37	△ 0.8
	循環器科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	外科	741	3.5	571	2.7	338	1.8	219.2	188.9	100.0	170	29.8
	整形外科	1,088	5.1	1,707	8.2	0	0.0	-	-	-	△ 619	△ 36.3
	小児科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-	-	-	0	-
	皮膚科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	泌尿器科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-	-	-	0	-
	人工透析科	202	1.0	100	0.5	188	1.0	107.4	53.2	100.0	102	102.0
	耳鼻咽喉科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	眼科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	地域包括	3,066	14.5	2,968	14.1	2,948	15.3	104.8	100.7	100.0	120	4.0
	精神神経科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	療養	11,621	54.8	11,071	52.9	11,162	58.2	104.1	99.2	100.0	550	5.0
計	21,222	100.0	20,936	100.0	19,192	100.0	110.6	109.1	100.0	286	1.4	
外 来	内科	12,881	36.8	15,614	38.8	17,492	41.4	73.6	89.3	100.0	△ 2,733	△ 17.5
	循環器科	1,851	5.3	2,102	5.2	2,145	5.1	86.3	98.0	100.0	△ 251	△ 11.9
	外科	1,701	4.9	1,817	4.5	2,170	5.1	78.4	83.7	100.0	△ 118	△ 6.4
	整形外科	6,224	17.8	8,432	20.8	8,309	19.7	74.9	101.5	100.0	△ 2,208	△ 28.2
	小児科	1,360	3.9	1,462	3.6	1,026	2.4	132.6	142.5	100.0	△ 102	△ 7.0
	皮膚科	2,200	6.3	2,242	5.5	2,387	5.6	92.2	93.9	100.0	△ 42	△ 1.9
	泌尿器科	769	2.2	713	1.8	732	1.7	105.1	97.4	100.0	58	7.9
	人工透析科	2,114	6.0	2,052	5.1	1,960	4.6	107.9	104.7	100.0	62	3.0
	耳鼻咽喉科	1,122	3.2	1,263	3.1	1,139	2.7	98.5	110.9	100.0	△ 141	△ 11.2
	眼科	1,520	4.4	1,477	3.7	1,596	3.8	95.2	92.5	100.0	43	2.9
	精神神経科	2,498	7.1	2,502	6.2	2,617	6.2	95.5	95.6	100.0	△ 4	△ 0.2
	医療訪問 看護	750	2.1	762	1.9	709	1.7	105.8	107.5	100.0	△ 12	△ 1.6
	計	34,990	100.0	40,438	100.0	42,282	100.0	82.8	95.5	100.0	△ 5,448	△ 13.5
合計	56,212	-	61,374	-	61,474	-	91.4	99.8	100.0	△ 5,162	△ 8.4	

2. 経営状況

(1) 損益の状況

(表3 比較損益計算書 参照)

当年度の医業に係る収支は8億5,246万円の損失であり、前年度損失額9億315万円に比較して6,069万円(5.6%)の損失が減少している。また、医業外及び院内保育に係る収支では6億3,768万円の利益が生じているが、経常収支においてはマイナスとなっており、当期末2億1,478万円の経常損失となっている。

ア. 医業収益及び費用

医業収益は10億235万円であり、対前年度比4,906万円(4.7%)が減少している。

その内容は、外来収益3,013万円(10.0%)、その他医業収益971万円(25.4%)、入院収益720万円(1.3%)、負担金203万円(1.2%)が減少している。

医業費用については18億5,481万円であり、対前年度比9,975万円(5.1%)が減少している。その主な内容は、減価償却費3,625万円(32.5%)、資産減耗費151万円(358.9%)が増加する一方、給与費9,378万円(7.9%)、材料費2,708万円(14.3%)、経費1,643万円(3.6%)が減少している。

イ. 医業外収益及び費用

医業外収益は6億5,009万円であり、対前年度比8,317万円(14.7%)が増加している。

その主な内容は、補助金1,040万円(2.9%)が減少する一方、その他医業外収益9,073万円(86.2%)、負担金201万円(2.4%)が増加している。

医業外費用については927万円であり、対前年度比210万円(29.3%)が増加している。

その主な内容は、雑損失265万円(55.7%)が増加している。

ウ. 院内保育収益及び費用

院内保育収益については512万円であり、対前年度比1万円(0.2%)が減少している。その内容は、補助金14万円(3.2%)が増加する一方、保育施設収益10万円(21.2%)、雑収益5万円(23.3%)が減少している。

院内保育費用については825万円であり、対前年度比7万円(0.8%)が減少している。その主な内容は、材料費8万円(25.0%)が減少している。

(2) 予算と決算の状況

(表4 費用構成表、表5 予算決算対照表(1) 収益的収入及び支出 参照)

ア. 収益的収入及び支出

当年度の予算では、収益的収入19億5,660万円に対し、収益的支出20億7,312万円であり、差引1億1,652万円の損失を予定しており、決算においては、同収入19億734万円(予算執行率97.5%、対予算現額比△4,926万円)に対し、同支出18億7,999万円(同率90.7%、同額比△1億9,313万円)であり、差引2,735万円(税込)の純利益となっている。

(ア) 医業収益及び費用

医業収益は、予算現額 10 億 6,764 万円に対し、決算額 10 億 518 万円（予算執行率 94.1%）であり、6,247 万円の減少となっており、入院収益で 3,924 万円、外来収益で 1,250 万円、その他医業収益 1,072 万円が減少している。

医業費用については、予算現額 20 億 4,441 万円に対し、決算額 18 億 5,729 万円（同率 90.8%）であり、1 億 8,712 万円の不用額が生じているが、その内容は、給与費（9,069 万円）、経費（5,612 万円）、材料費（3,715 万円）、研究研修費（209 万円）、資産減耗費（107 万円）が主なものである。

(イ) 医業外収益及び費用

医業外収益は、予算現額 6 億 3,870 万円に対し、決算額 6 億 5,139 万円（予算執行率 102.0%）であり、1,269 万円の増加となっており、その主な内容は、その他医業外収益で 1,272 万円が増加している。

医業外費用については、予算現額 1,291 万円に対し、決算額 1,078 万円（同率 83.5%）であり、212 万円の不用額が生じているが、その内容は、雑損失（102 万円）が主なものである。

(ウ) 院内保育収益及び費用

院内保育収益は、予算現額 526 万円に対し、決算額 512 万円（予算執行率 97.3%）であり、14 万円の減少となっている。

院内保育費用については、予算現額 1,015 万円に対し、決算額 825 万円（同率 81.4%）であり、189 万円の不用額が生じているが、その内容は、給与費（174 万円）が主なものである。

(エ) 特別利益及び特別損失

特別利益は、予算現額 2 億 4,500 万円に対し、決算額 2 億 4,566 万円（予算執行率 100.3%）であり、66 万円の増加となっており、その内容は、その他で 66 万円の増加となっている。なお、当利益の資金不足対策一般会計補助金については、対前年度比 5,700 万円が減少している。

特別損失については、予算現額 366 万円に対し、決算額も同額の 366 万円（予算執行率 100.0%）であり、その全額が退職給付引当金繰入額である。

イ. 資本的収入及び支出

（表 5 予算決算対照表（2）資本的収入及び支出 参照）

資本的収入は、予算現額 1 億 2,771 万円に対し、決算額 1 億 763 万円（予算執行率 84.3%）となっている。

また、資本的支出については、予算現額 1 億 4,990 万円に対し、決算額 1 億 2,859 万円（同率 85.8%）であり、2,131 万円の不用額が生じている。

なお、収支差引不足額 2,097 万円（前年度 3 億 1,682 万円不足）に対しては、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 14 万円と過年度分損益勘定留保資金 2,083 万円により補てんされている。

表 3

比較損益計算書(税抜き)

(単位 円・%)

科目	区分	令和5年度 A		令和4年度 B		対前年度比 A-B	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
1. 医療収益 (A)		1,002,346,948	100.0	1,051,405,165	100.0	△ 49,058,217	△ 4.7
	入院収益	532,915,264	53.2	540,114,355	51.4	△ 7,199,091	△ 1.3
	外来収益	270,704,074	27.0	300,831,585	28.6	△ 30,127,511	△ 10.0
	負担金	170,241,000	17.0	172,267,000	16.4	△ 2,026,000	△ 1.2
	その他医療収益	28,486,610	2.8	38,192,225	3.6	△ 9,705,615	△ 25.4
2. 医療費用 (B)		1,854,807,195	100.0	1,954,554,186	100.0	△ 99,746,991	△ 5.1
	給与費	1,095,889,805	59.1	1,189,769,131	60.9	△ 93,779,326	△ 7.9
	材料費	182,537,409	8.8	189,618,939	9.7	△ 27,081,530	△ 14.3
	経費	444,272,900	23.9	480,707,341	23.6	△ 16,434,441	△ 3.6
	減価償却費	147,880,889	8.0	111,629,761	5.7	36,250,928	32.5
	資産減耗費	1,927,725	0.1	420,112	0.0	1,507,613	358.9
	研究研修費	2,198,667	0.1	2,408,902	0.1	△ 210,235	△ 8.7
医療損失 (A)-(B) (C)		△ 852,460,247	-	△ 903,149,021	-	50,688,774	5.8
3. 医療外収益 (D)		650,088,660	100.0	589,914,755	100.0	83,173,905	14.7
	受取利息	1,360	0.0	2,417	0.0	△ 1,057	△ 43.7
	負担金	85,141,000	13.1	83,129,000	14.7	2,012,000	2.4
	補助金	345,866,000	53.2	356,261,000	62.8	△ 10,395,000	△ 2.9
	患者外給食収益	2,638	0.0	22,393	0.0	△ 19,755	△ 88.2
	長期前受金戻入	29,024,694	3.5	22,181,898	3.9	84,296	3.8
	その他医療外収益	196,052,988	30.2	105,318,047	18.6	90,734,921	88.2
4. 院内保育収益 (E)		5,115,110	100.0	5,122,820	100.0	△ 7,710	△ 0.2
	保育施設収益	388,000	7.6	490,000	9.6	△ 104,000	△ 21.2
	補助金	4,579,000	89.5	4,437,000	86.6	142,000	3.2
	雑収益	150,110	2.9	195,820	3.8	△ 45,710	△ 23.3
5. 医療外費用 (F)		9,274,364	100.0	7,172,348	100.0	2,102,016	29.3
	支払利息	1,122,299	12.1	1,232,100	17.2	△ 109,801	△ 8.9
	患者外給食材料費	23,100	0.2	16,868	0.2	6,232	36.9
	雑損失	7,400,065	79.8	4,752,280	66.3	2,647,785	55.7
	消費税	728,900	7.9	1,171,100	16.3	△ 442,200	△ 37.8
6. 院内保育費用 (G)		8,253,915	100.0	8,321,052	100.0	△ 67,137	△ 0.8
	給与費	7,787,546	94.3	7,762,854	93.3	24,892	0.3
	材料費	252,340	3.1	336,472	4.0	△ 84,132	△ 25.0
	経費	214,029	2.6	221,928	2.7	△ 7,897	△ 3.6
経常利益(△損失) (C)+(D)+(E)-(F)-(G)		△ 214,784,756	-	△ 346,804,846	-	131,820,090	38.0
7. 特別利益		245,657,000	100.0	353,061,824	100.0	△ 107,404,824	△ 30.4
8. 特別損失		3,655,000	100.0	100,000,000	100.0	△ 96,345,000	△ 96.3
当年度純利益(△損失)		27,217,244	-	△ 93,543,022	-	120,760,266	129.1

表 4

費用構成表 (税抜き)

(単位 円・%)

科目	区分	令和5年度 A		令和4年度 B		対前年度比 A-B	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
給 与 費		1,103,777,351	58.8	1,197,531,785	57.8	△ 93,754,434	△ 7.8
給 料		420,230,580	22.4	433,421,232	20.9	△ 13,190,652	△ 3.0
手 当		288,748,485	14.3	288,408,896	13.8	△ 17,660,411	△ 6.2
賞与引当金繰入額		54,251,000	2.9	51,943,000	2.5	2,308,000	4.4
報 酬		176,103,036	9.4	194,456,474	9	△ 18,353,438	△ 9.4
法定福利費		134,425,779	7.1	143,075,857	8.9	△ 8,650,078	△ 6.0
法定福利費引当金繰入額		10,756,000	0.6	10,245,000	0.5	511,000	5.0
退職手当組合負担金		39,262,471	2.1	77,981,328	3.8	△ 38,718,855	△ 49.7
材 料 費		162,789,749	8.7	189,955,411	9.2	△ 27,165,662	△ 14.3
薬 品 費		99,011,253	5.3	113,882,003	5.5	△ 14,870,750	△ 13.1
診療材料費		41,229,338	2.2	52,552,928	2.5	△ 11,323,590	△ 21.5
給食材料費		18,057,994	1.0	17,423,714	0.9	634,280	3.6
医療消耗備品費等		4,491,164	0.2	6,096,766	0.3	△ 1,605,602	△ 26.3
経 費		444,486,929	23.7	460,829,267	22.3	△ 16,442,338	△ 3.6
燃 料 費		47,569,619	2.5	46,845,874	2.3	723,945	1.5
光熱水費		59,381,558	3.2	57,065,930	2.8	2,315,628	4.1
修繕料		23,865,596	1.3	21,205,003	1.0	2,660,593	12.5
賃借料		59,820,381	3.2	64,785,318	3.1	△ 4,964,937	△ 7.7
委託料		214,054,755	11.4	221,043,450	10.7	△ 6,988,695	△ 3.2
その他経費		33,727,308	1.8	42,213,026	2.0	△ 8,485,718	△ 20.1
旅費交通費		6,067,712	0.3	7,770,866	0.4	△ 1,703,154	△ 21.9
減価償却費		147,880,889	7.9	111,629,761	5.4	36,250,928	32.5
資産減耗費		1,927,725	0.1	420,112	0.0	1,507,613	358.9
研究研修費		2,198,667	0.1	2,408,902	0.1	△ 210,235	△ 8.7
支払利息		1,122,298	0.1	1,232,100	0.1	△ 109,801	△ 9.9
企業債利息		939,133	0.1	828,259	0.1	110,874	13.4
年賦購入利息		3,617	0.0	0	0.0	3,617	皆増
一時借入金利息		179,549	0.0	403,841	0.0	△ 224,292	△ 55.5
患者外給食材料費		23,100	0.0	16,868	0.0	6,232	36.9
雑 損 失		7,400,065	0.4	4,752,280	0.2	2,647,785	55.7
特 別 損 失		3,655,000	0.2	100,000,000	4.8	△ 96,345,000	△ 96.3
消 費 税		728,900	0.0	1,171,100	0.1	△ 442,200	△ 37.8
合 計		1,875,990,474	100.0	2,070,047,586	100.0	△ 194,057,112	△ 9.4

表 5

予算決算対照表

(1) 収益の収入及び支出

(単位 円・%)

科目	区分		決算額(税込) 日		執行率 %	比較増減 B - A	決算額(税抜き)	
	予算現額 A		金額	構成比			金額	構成比
収益的収入	1,956,604,000	100.0	1,907,340,618	100.0	97.5	△ 49,263,382	1,903,207,718	100.0
医業収益	1,067,643,000	54.6	1,005,177,363	52.7	94.1	△ 62,465,637	1,002,346,948	52.7
入院収益	572,154,000	28.2	532,915,264	27.9	93.1	△ 39,238,736	532,915,264	28.0
外来収益	283,245,000	14.5	270,742,035	14.2	95.6	△ 12,502,965	270,704,074	14.2
負担金	170,241,000	8.7	170,241,000	8.9	100.0	0	170,241,000	8.9
その他 医業収益	42,003,000	2.2	31,279,064	1.6	74.5	△ 10,723,936	28,466,810	1.5
医業外収益	638,702,000	32.6	651,391,145	34.1	102.0	12,689,145	650,088,660	34.1
受取利息	3,000	0.0	1,360	0.0	45.3	△ 1,640	1,360	0.0
負担金	85,141,000	4.3	85,141,000	4.5	100.0	0	85,141,000	4.5
補助金	345,866,000	17.7	345,866,000	18.1	100.0	0	345,866,000	18.2
患者外 給食収益	28,000	0.0	2,900	0.0	10.4	△ 25,100	2,939	0.0
長期前受金 戻入	23,024,000	1.2	23,024,694	1.2	100.0	694	23,024,694	1.2
その他 医業外収益	184,640,000	9.4	197,355,191	10.3	106.9	12,715,191	198,052,968	10.3
院内保育収益	5,259,000	0.3	5,115,110	0.3	97.3	△ 143,890	5,115,110	0.3
保育施設収益	480,000	0.0	386,000	0.0	80.4	△ 94,000	386,000	0.0
補助金	4,579,000	0.3	4,579,000	0.2	100.0	0	4,579,000	0.2
雑収益	200,000	0.0	150,110	0.0	75.1	△ 49,890	150,110	0.0
特別利益	245,000,000	12.5	245,657,000	12.9	100.3	657,000	245,657,000	12.9
収益的支出	2,073,120,000	100.0	1,879,986,926	100.0	90.7	△ 193,133,074	1,875,990,474	100.0
医業費用	2,044,412,000	98.6	1,957,294,059	98.6	90.8	△ 187,117,941	1,954,807,195	98.9
給与費	1,186,696,000	57.2	1,086,004,381	58.3	92.4	△ 90,691,139	1,085,989,805	58.4
材料費	199,705,000	9.6	162,556,255	8.6	81.4	△ 37,148,745	162,537,409	8.7
経費	502,624,000	24.3	446,506,011	23.8	88.8	△ 56,117,989	444,272,900	23.7
減価償却費	147,882,000	7.1	147,880,689	7.9	100.0	△ 1,311	147,880,689	7.9
資産減耗費	3,000,000	0.2	1,927,725	0.1	64.3	△ 1,072,275	1,927,725	0.1
研究研修費	4,505,000	0.2	2,419,518	0.1	53.7	△ 2,086,482	2,198,667	0.1
医業外費用	12,908,000	0.6	10,783,812	0.6	83.5	△ 2,124,188	9,274,364	0.5
支払利息	1,442,000	0.1	1,122,299	0.1	77.8	△ 319,701	1,122,299	0.1
患者外 給食材料費	49,000	0.0	24,948	0.0	50.9	△ 24,052	23,100	0.0
雑損失	8,417,000	0.4	7,400,065	0.4	87.9	△ 1,016,935	7,400,065	0.4
消費税	3,000,000	0.1	2,238,500	0.1	74.6	△ 761,500	728,900	0.0
院内保育費用	10,145,000	0.5	6,254,055	0.4	61.4	△ 1,890,945	6,253,915	0.4
給与費	9,528,000	0.5	7,787,548	0.4	81.7	△ 1,740,454	7,787,548	0.4
材料費	335,000	0.0	252,340	0.0	75.3	△ 82,660	252,340	0.0
経費	282,000	0.0	214,169	0.0	75.9	△ 67,831	214,029	0.0
特別損失	3,655,000	0.2	3,655,000	0.2	100.0	0	3,655,000	0.2
予備費	2,000,000	0.1	0	0.0	0.0	△ 2,000,000	0	0.0
収益的収入支出差引	△ 116,516,000	-	27,353,692	-	-	143,869,692	27,217,244	-

(2)資本的收入及び支出

(単位 円・%)

科目	区分	予算現額 A		決算額(税込み) B		執行率 %	比較増減 B - A	決算額(税抜き)	
		金額	構成比	金額	構成比			金額	構成比
資本的收入		127,705,000	100.0	107,625,000	100.0	84.3	△ 20,080,000	107,625,000	100.0
	企業債	53,000,000	41.5	32,200,000	29.9	60.8	△ 20,800,000	32,200,000	29.9
	企業債	53,000,000	41.5	32,200,000	29.9	60.8	△ 20,800,000	32,200,000	29.9
	出資金	74,705,000	58.5	74,705,000	69.4	100.0	0	74,705,000	69.4
	出資金	74,705,000	58.5	74,705,000	69.4	100.0	0	74,705,000	69.4
	投資償還金	0	0.0	720,000	0.7	-	720,000	720,000	0.7
	貸付金償還金	0	0.0	720,000	0.7	-	720,000	720,000	0.7
資本の支出		149,903,000	100.0	128,590,241	100.0	85.8	△ 21,312,759	128,453,793	100.0
	建設改良費	53,000,000	35.4	32,347,700	25.2	61.0	△ 20,652,300	32,211,252	25.1
	資産購入費	53,000,000	35.4	32,347,700	25.2	61.0	△ 20,652,300	32,211,252	25.1
	投資	960,000	0.6	300,000	0.2	31.3	△ 660,000	300,000	0.2
	長期貸付金	960,000	0.6	300,000	0.2	31.3	△ 660,000	300,000	0.2
	企業債償還金	95,943,000	64.0	95,942,541	74.6	100.0	△ 459	95,942,541	74.7
	企業債償還金	95,943,000	64.0	95,942,541	74.6	100.0	△ 459	95,942,541	74.7
資本的收入支出差引		△ 22,198,000	-	△ 20,965,241	-	-	1,232,759	△ 20,828,793	-

表 6

たな卸資産購入限度額

(単位 円・%)

区分	項目	薬品	診療材料	給食材料	ボイラー燃料	計	備考
	予算額 A	130,282,000	24,009,000	2,828,000	47,210,000	204,329,000	
	購入額 B	55,912,512	6,360,255	1,147,660	45,465,200	108,885,627	
差	残額(A-B) C	74,369,488	17,648,745	1,680,340	1,744,800	95,443,373	
引	率 C/A × 100	57.1	73.5	59.4	3.7	46.7	

ウ. 予算議決事業の執行状況

(表 6 たな卸資産購入限度額 参照)

予算議決事項の債務負担行為、企業債、一時借入金、議会の議決を経なければ流用することのできない経費、他会計からの補助金及びたな卸資産の購入限度額については、それぞれ議決された内容の範囲内で執行されている。

3. 財政状況

(表 7 比較貸借対照表 参照)

(1) 資産

当期末における総資産は 14 億 8,313 万円であり、うち固定資産が 11 億 2,575 万円 (構成比 75.9%)、流動資産が 3 億 5,738 万円 (同比 24.1%) となっている。

固定資産についてみると、対前年度比 1 億 2,522 万円が減少しており、その主な内容は、器械及び備品 8,149 万円、建物 3,387 万円、長期貸付金 762 万円、構築物 154 万円が減少している。

流動資産については、対前年度比 1 億 3,073 万円が増加しており、その主な内容は、未収金 2,650 万円が減少する一方、現金預金 1 億 5,713 万円が増加している。

(2) 負債及び資本

当期末における負債は 17 億 8,594 万円 (構成比 120.4%)、資本が △3 億 280 万円 (同比 △20.4%) であり、総資本 (負債資本合計) は 14 億 8,313 万円となっている。

固定負債については 11 億 5,609 万円であり、対前年度比 5,895 万円が減少しており、その内容は、引当金 366 万円が増加する一方、企業債 6,261 万円が減少している。

流動負債については 2 億 7,250 万円であり、対前年度比 1,443 万円が減少しており、その主な内容は、引当金 282 万円が増加する一方、未払金 1,434 万円、仮受金 122 万円、企業債 114 万円が減少している。

また、繰延収益については 3 億 5,735 万円であり、対前年度比 2,302 万円が減少しており、その内容は、長期前受金収益化累計額 2,302 万円が減少している。

次に、資本金については、自己資本金が 11 億 1,429 万円であり、対前年度比 7,471 万円が増加している。

また、剰余金については、対前年度比 2,722 万円が増加しており、当年度未処理欠損金については、前年度繰越欠損金 15 億 2,291 万円に当年度純利益 2,722 万円が発生したことにより、14 億 9,570 万円となっている。

表 7

比較貸借対照表

(単位 円・%)

科目	区分	資 産 の 部					
		令和5年度 A		令和4年度 B		対前年度比 A-B	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
1. 固定資産		1,125,754,270	75.9	1,250,971,432	84.7	△ 125,217,162	△ 10.0
(1) 有形固定資産		1,119,148,470	75.5	1,236,745,632	83.7	△ 117,597,162	△ 9.5
土地		32,573,775	2.2	32,573,775	2.2	0	0.0
建物		523,591,291	35.3	557,457,489	37.7	△ 33,866,198	△ 6.1
構築物		12,325,140	0.8	13,866,958	0.9	△ 1,541,818	△ 11.1
器械及び備品		545,214,913	36.8	626,703,144	42.4	△ 81,488,231	△ 13.0
車両運搬具		3,227,686	0.2	3,928,601	0.3	△ 700,915	△ 17.8
リース資産		2,215,665	0.1	2,215,665	0.2	0	0.0
(減価償却累計額)		(3,758,168,460)	-	(3,648,862,271)	-	109,326,189	3.0
(2) 無形固定資産		245,800	0.0	245,800	0.0	0	0.0
電話加入権		245,800	0.0	245,800	0.0	0	0.0
(3) 投資		6,360,000	0.4	13,980,000	1.0	△ 7,620,000	△ 54.5
長期貸付金		6,360,000	0.4	13,980,000	1.0	△ 7,620,000	△ 54.5
2. 流動資産		357,377,931	24.1	226,644,532	15.3	130,733,399	57.7
(1) 現金預金		192,464,944	13.0	35,330,376	2.4	157,134,568	444.8
(2) 未収金		161,322,850	10.9	167,819,980	12.7	△ 26,497,330	△ 14.1
(3) 貯蔵品		3,590,337	0.2	3,494,176	0.2	96,161	2.8
資産合計		1,483,132,201	100.0	1,477,615,964	100.0	5,516,237	0.4

(単位 円・%)

科目	区分	負債及び資本の部					
		令和5年度 A		令和4年度 B		対前年度比 A-B	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
3.	固定負債	1,156,069,850	77.9	1,215,041,787	82.2	△ 58,951,917	△ 4.9
	企業債	485,962,850	32.7	548,569,767	37.1	△ 62,606,917	△ 11.4
	引当金	670,127,000	45.2	666,472,000	45.1	3,655,000	0.5
4.	流動負債	272,500,898	18.4	286,830,294	19.4	△ 14,429,396	△ 5.0
	企業債	94,806,917	6.4	95,942,541	6.5	△ 1,135,624	△ 1.2
	未払金	103,537,153	7.0	117,881,228	7.9	△ 14,344,075	△ 12.2
	引当金	65,007,000	4.4	62,188,000	4.2	2,819,000	4.5
	仮受金	0	0.0	1,216,000	0.1	△ 1,216,000	△ 100.0
	預り金	8,349,828	0.5	8,902,525	0.6	△ 552,697	△ 6.2
	その他預り金	800,000	0.1	800,000	0.1	0	0.0
5.	繰延収益	357,345,141	24.1	380,369,835	25.8	△ 23,024,694	△ 6.1
	長期前受金	2,088,505,588	140.8	2,088,505,588	141.4	0	0.0
	長期前受金 収益化累計額	△ 1,731,160,447	△ 116.7	△ 1,708,135,753	△ 115.6	△ 23,024,694	△ 1.3
	負債合計	1,785,935,889	120.4	1,882,341,896	127.4	△ 96,406,007	△ 5.1
6.	資本金	1,114,286,863	75.1	1,039,581,863	70.4	74,705,000	7.2
	自己資本金	1,114,286,863	75.1	1,039,581,863	70.4	74,705,000	7.2
7.	剰余金	△ 1,417,090,551	△ 95.5	△ 1,444,307,795	△ 97.8	27,217,244	1.9
	資本剰余金	78,605,809	5.3	78,605,809	5.3	0	0.0
	受贈財産評価額	78,605,809	5.3	78,605,809	5.3	0	0.0
	欠損金(利益剰余金)	△ 1,495,696,360	△ 100.8	△ 1,522,913,604	△ 103.1	27,217,244	1.8
	当年度未処理欠損金	△ 1,495,696,360	△ 100.8	△ 1,522,913,604	△ 103.1	27,217,244	1.8
	資本合計	△ 302,803,688	△ 20.4	△ 404,725,932	△ 27.4	101,922,244	25.2
	負債資本合計	1,483,132,201	100.0	1,477,615,964	100.0	5,516,237	0.4

4. 総括について

令和5年度の病院事業会計は、収入については、診療科全般にわたる入院及び外来患者数が前年度実績より8.4%減となり、医業収益で4.7%前年度を下回った。一方、支出においては、医師等を予算見込みどおり採用できなかったこと等による給与費の減や、患者数の減等による材料費の減、修繕費等の経費節減等により不用額が発生した。

これらの結果、財政状況については、収益的収支では2,722万円の当年度純利益が発生し、前年度繰越欠損金を合わせた当年度未処理欠損金は、14億9,570万円となった。

資本的収支については、2,097万円の不足となったが、収支不足額は当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額と過年度分損益勘定留保資金で補てんされている。

経営分析及び財務分析における対前年度比較では、収益率の総収支比率が6.0ポイント、医業収支比率は0.2ポイント好転している。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率については、前年度と同様に資金の不足額は発生しておらず、今後共、更なる改善に期待する。

市立病院としては、今日まで本市の高齢化の実態に対応するため、訪問看護事業、療養病棟等医療サービスの充実に務められてきたことに加えて、新型コロナウイルス感染症の対応として発熱外来、感染症病床の運営や訪問リハビリテーション事業など、市民及び地域住民が安心して生活できるよう努力されてきたところである。一方で、資金不足対策としての一般会計からの補助金は、対前年度比5,700万円減の2億4,500万円が投入され経営改善を進めているが、更なる経営安定を図るため、患者数の増加対策及び引続き医師、看護師等の人的確保対策に傾注され、受入れ態勢の充実強化に向けた取組みに期待する。

また、「市立三笠総合病院のあり方」の中で示している目指すコンセプト「地域住民の安全安心を支える拠点となる病院」の構築に向けて、病院経営の安定化及び医療の多機能化と在宅医療の充実を目指し、市内唯一の総合病院として引続き維持されるための経営安定化対策に尽力されるよう期待する。

市立三笠総合病院事業会計決算審査資料

資料 1	病院事業の経営分析の年度比較	50
資料 2	経営・財務分析表	52
資料 3	令和 5 年度近隣市立病院の経営状況調	54

病院事業の経営分析の年度比較

項目	区分		令和5年度	令和4年度	令和3年度	全国類似規模病院 の令和4年度平均 *100床以上200床未満 (地方公営企業年鑑)	算式
	一般	療養 精神 計	%	%	%		
病床利用率	一般	%	28.8	29.7	24.2	61.0	年延一般入院患者数/年延一般病床数
	療養	%	73.8	70.5	71.1	75.6	年延療養入院患者数/年延療養病床数
	精神	%	0.0	0.0	0.0	56.6	年延精神入院患者数/年延精神病床数
1日平均患者数	計	%	29.1	28.8	26.4	62.8	年延入院患者数/年延総病床数
	入院	人	58.0	57.4	52.6	93.0	年延入院患者数/365日
	外来	人	143.4	165.7	174.0	238.0	年延外来患者数/診療日数
患者数	計	人	201.4	223.1	226.6	331.0	
	外来入院患者比率	%	164.9	193.2	220.3	177.4	年延外来患者数/年延入院患者数
	医師	人	8.0	7.6	8.0	6.7	年延入院患者数/年延医師数
看護部門	外来	人	13.2	14.8	17.6	10.1	年延外来患者数/年延医師数
	計	人	21.2	22.4	25.6	15.8	
	入院	人	0.7	0.6	0.5	1.0	年延入院患者数/年延看護部門職員数
収入	外来	人	1.1	1.2	1.1	1.8	年延外来患者数/年延看護部門職員数
	計	人	1.8	1.8	1.6	2.8	
	入院	円	25,111	25,798	24,458	31,105	入院収益/年延入院患者数
患者一人あたり診療収入	うち	円	1,184	707	549	1,327	投薬注射収入/年延入院患者数
	うち	円	67	767	902	801	検査収入/年延入院患者数
	うち	円	427	497	430	358	放射線収入/年延入院患者数
職員1人1日当たり診療収入	計	円	7,737	7,439	6,719	9,198	外来収益/年延外来患者数
	うち	円	550	671	305	1,504	投薬注射収入/年延外来患者数
	うち	円	2,026	1,912	1,903	2,340	検査収入/年延外来患者数
職員1人1日当たり診療収入	計	円	607	597	561	966	放射線収入/年延外来患者数
	医師	円	302,910	307,027	313,700	270,077	入院外来収益/年延医師数
	看護部門	円	25,045	24,039	20,470	48,844	入院外来収益/年延看護部門職員数

項目	区分		令和5年度	令和4年度	令和3年度	全国類似規模病院 の令和4年度平均 *100床以上200床未満 (地方公営企業年鑑)	算式	
	投薬	注射						
費用	患者1人1日 当たり薬品費	円	269	506	245	375	投薬薬品費/年延総患者数	
	入院患者1日当たり 給食材料費	円	839	818	772	276	給食材料費/年延入院患者数	
診療 対	薬品使用効率	投薬薬	69.5	74.4	42.7	102.6	薬品収入(控薬分)/投薬薬品費	
		注射	82.6	59.9	60.0	94.2	薬品収入(注射分)/注射薬品費	
	療収入に 割合	投薬注射収入	5.5	5.0	3.1	8.4	投薬注射収入/入院外来収益	
		検査収入	9.0	11.1	13.0	10.4	検査収入/入院外来収益	
		放射線収入	3.8	4.1	4.2	4.4	放射線収入/入院外来収益	
	医療材料費	薬品費	5.6	5.9	4.5	7.4	薬品費/医療収益	
		その他	8.8	10.5	10.2	8.2	その他医療材料費/医療収益	
		計	14.4	18.4	14.7	15.7	医療材料費/医療収益	
	検査等の 状況	職員給与費	%	98.9	94.7	99.3	70.9	職員給与費/医療収益
		患者100人当たり 検査件数	件	450.5	509.6	529.7	336.1	年間検査件数/年延総患者数
患者100人当たり 放射線件数		件	12.4	13.6	12.0	17.4	年間放射線件数/年延総患者数	
検査技師1人 当たり検査件数		件	36,173	52,127	46,514	53,449	年間検査件数/年度末検査技師数	
放射線技師1人 当たり放射線件数		件	1,739	2,088	1,847	3,567	年間放射線件数/年度末放射線技師数	
病床 100床 当たり 職員数	医師	人	4.0	3.5	3.5	6.7	年度末医師数/年度末病床数	
	看護部門職員	人	45.2	47.2	48.7	48.0	年度末看護部門職員数/年度末病床数	
	薬剤部門職員	人	1.0	1.0	1.5	-	年度末薬剤部門職員数/年度末病床数	
	事務部門職員	人	7.5	8.0	8.0	8.4	年度末事務部門職員数/年度末病床数	
	給食部門職員	人	1.0	1.0	1.0	-	年度末給食部門職員数/年度末病床数	
	医療技師職員	人	5.5	5.0	5.5	21.6	年度末医療技師職員数/年度末病床数	
	その他職員	人	11.1	11.1	11.1	3.4	年度末その他職員数/年度末病床数	
全職員	人	75.4	76.9	79.4	88.1	年度末全職員数/年度末病床数		

経営・財務分析表

分析項目		比率(%)			説明
		令和5年度	令和4年度	令和3年度	
構成比率	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}} \times 100 = 75.9$	84.7	82.4	総資産のうち固定資産が占める割合を示す。固定資産の増大は固定費の増加並びに資金の固定化をもたらす。この比率の大きいことは公営企業の特徴であるが、小さいほうが望ましい。
	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資本}} \times 100 = 77.9$	92.2	80.7	総資本のうち長期負債が占める割合を示す。企業の長期的安定性を測定するために用い、この比率の小さいほうが望ましい。
	自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100 = 3.7$	△ 1.6	3.3	総資本のうち自己資本が占める割合を示す。この比率が高いほど企業の安定が増すことを示す。
財務比率	固定資産対長期資本比率 (固定長期適合率)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本} + \text{固定負債}} \times 100 = 93.0$	105.1	74.3	固定資産の調達自己資本と固定負債(企業債等)の範囲で行われるべきであるとの立場から100%以下であることが望ましく、超えた場合は固定資産に対して過大投資が行われたものといえる。
	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}} \times 100 = 2,064.0$	△ 5,136.2	1,864.6	固定資産は自己資本によって賄われるべきであるとする企業財政上の原則から100%以下が望ましい。
	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100 = 131.1$	79.0	235.6	1年以内に現金化できる資産と1年以内に支払わねばならない負債との対比で支払能力をみるもので一般的に100%以上あることが必要。
	酸性試験比率 (当座比率)	$\frac{\text{現金預金} + \text{未収金}}{\text{流動負債}} \times 100 = 129.8$	77.8	234.4	当座資産(現金・預金・未収金)と流動負債との対比で支払能力をみる。100%以上が望ましい。

分析項目		比率(%)			説明
		令和5年度	令和4年度	令和3年度	
収益率	総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100 = 101.5$	95.5	93.8	収益と費用の総体的な関連性を示す。この比率が高いほど企業の効率性を示す。100%以上で比率の大きいほど望ましい。
	医業収支比率	$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100 = 54.0$	53.8	52.0	医業収益と医業費用との割合で営業活動の能率を示す。100%以上で比率の大きいほど望ましい。
入院・外来収益対職員給与費比率		$\frac{\text{職員給与費}}{\text{入院外来収益}} \times 100 = 136.4$	141.5	154.3	職員給与費と入院外来収益との割合で50%以下が望ましい。

※算式欄における用語は次のとおりである。

固定資産＝ (固定資産－減価償却累計額)

総資産＝ (固定資産＋流動資産＋繰延資産)

総資本＝ (資本＋負債)

自己資本＝ (資本金＋剰余金＋繰延収益)

令和5年度 近隣市立病院の経営状況調 (税抜き後決算統計による)
(単位 床・人・千円)

区分	市名	赤平市	芦別市	滝川市	岩見沢市 (栗沢除く)	砂川市	美唄市	三笠市	
								令和5年度	令和4年度
1. 規模等									
(1) 病床数		120	99	314	484	458	98	199	199
ア 一般		60	60	270	365	408	53	91	91
イ 結核						6			
ウ 精神				44	115	40		65	65
エ 感染症					4				
オ 療養		60	39				45	43	43
(2) 1日平均患者数									
カ 入院		93	59	176	266	293	38	58	57
キ 外来		240	181	678	702	840	153	143	166
2. 財務内容									
(1) 総収益 A+B+(5)		2,341,282	1,897,248	6,962,947	10,967,857	13,699,604	1,412,201	1,903,208	1,976,505
医業収益 A		1,871,922	1,323,702	5,570,829	10,001,616	12,240,431	1,090,146	1,002,347	1,051,405
医業外収益他 B		455,955	455,184	1,285,899	966,241	1,432,209	319,262	655,204	572,038
(2) 総費用 C+D+(6)		2,285,322	1,882,320	6,983,383	12,019,193	15,378,349	1,541,563	1,875,990	2,070,048
医業費用 C		2,198,972	1,809,576	6,432,274	11,309,006	15,104,095	1,507,603	1,854,807	1,954,554
医業外費用他 D		75,603	66,733	531,109	702,027	251,562	30,058	17,528	15,494
(3) 経常利益		53,302							
(4) 経常損失			87,423	106,655	1,043,176	1,683,017	128,253	214,784	346,605
(5) 特別利益		13,405	118,362	106,219		26,984	2,793	245,657	353,062
(6) 特別損失		10,747	6,011		8,160	22,692	3,902	3,655	100,000
(7) 純利益		55,960	14,928					27,218	
(8) 純損失				436	1,051,336	1,678,745	129,362		93,543
(9) 前年度繰越利益剰余金		△ 867,700	△ 1,171,582	△ 2,980,555	△ 1,824,902	△ 7,701,536	△ 2,125,347	△ 1,522,914	△ 1,429,371
(10) 当年度未処分利益剰余金		△ 811,740	△ 1,156,654	△ 2,980,991	△ 2,671,062	△ 8,349,593	△ 2,254,709	△ 1,495,696	△ 1,522,914
3. 不良債務 (E-F)-G			193,678						
(1) 流動負債 E		541,049	536,427	1,589,186	1,448,859	1,930,870	2,224,016	272,501	286,930
(2) 建設改良のための企業債 F		353,489	88,455	448,981	366,955	893,322	152,465	94,807	95,942
(3) 流動資産 G		1,887,798	254,294	2,335,984	3,586,098	2,785,793	2,833,901	357,378	226,644